



SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164群馬県前橋市東上野町136番地1

TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <http://www.s-step.com>

w-step@s-step.com

No.24



ご来場をお待ちしております!

芸術の秋! 恒例のチャリティーアート展が開催されます。
普段はなかなか見られないあの作家さんの作品が、
また新しい作家さんとの出会いが、
エネルギー溢れる種々の作品が会場を埋めつくす3日間、
どうぞご期待ください。

2005年
11月26日(土)~
28日(月)
10:00~17:00
※最終日は15:00まで



第5回
チャリティー
アート展
in
すてっぷ

1/ニューアル

チャリティーアート展へぜひ!

5回目のチャリティーアート展

新しい**作家**さんも迎え、喫茶スペースを**拡充**しました。

くつろぎながらゆっくり作品を見ていただけます。

※わーくはうす すてっぷの織製品新発売です。



ぴいあ 🍷 🍷 🍷 🍷 🍷 🍷 🍷 🍷 🍷 🍷



ぴいあ 🍷 北海道旅行



9月14日から16日の2泊3日で札幌とトマムリゾートへ行ってきました。1日目は、午後、新千歳空港に到着し、あいにくの雨。予定をしていたノーザンホーズパークには寄らずに札幌市内のホテルに直行。ゆっくり休んでから夕食にサッポロビール園へ行き、「生ラム食べ放題」大食グループと「グルメコース」小食グループに分かれてジンギスカンを食べました。大食グループでは食べ始め、立て続けにラム肉3皿追加注文するという記録をはじめ出し、お腹がはち切れんばかりに食べていました。その後は、ホテルでゆっくり過ごすグループ、札幌市街観光グループ、札幌ラーメンを食べに行くグループに分かれ過ごしました。札幌ラーメンを食べに行くグループは、夕食後ということとラーメンがコテコテだったためほとんど食べられませんでした。

2日目は、宿泊地トマムリゾートに行き、3つのグループに分かれて2つずつのアクティビティにチャレンジしました。パン、ジャム、アイスを作ったり、散策やサイクリング、プールやグランドゴルフをして楽しみました。



夕食は「祭りや」という体験型レストランで、カニ、いくら丼などの北海道の味を堪能した後、餅つきやYOSAKOIソーランの踊りをしました。たまらなく興奮したひとときでした。

3日目の早朝は、半分くらいの人たちが気球に乗りに行きました。轟音と共に空に浮かび、風を感じ、思わず隣のスタッフに抱きついて「怖い!!」と叫んだ方もいたそうです。

大きなハプニングもなく無事に帰って来られました。皆さん疲れているにも関わらず、笑顔で「今度はどこどこへ行きたいね。」と話していました。楽しい旅となりました。

関 □ 晃 一



ぴいあきっちゃん(県立女子大学食)にパン工房スタート



県立女子大の学食厨房の裏の食品庫を改造し、パン工房が出来上がりました。パン焼き窯や、ホイロ(焙炉。パン生地を発酵させる装置)、冷凍冷蔵庫などの設備は加藤登紀子コンサートの収益金で揃えることができました。(後援会の皆様、ありがとうございました)9月末にようやく使用できる状態になり、1週間試作に追われました。

10月3日リニューアルオープン当日、10:30のオープンを前に、香ばしい匂いに誘われて、学生さんたちが集まってきました。

「おいしいそう!」「かわいい!」などの言葉が飛び交い、スタッフと利用者はてんやわんや。お昼前までにほとんど売れてしまいました。

リニューアルオープンをしてから1ヶ月が経ちました。今では午前も午後でも焼きたてのパンを出しています。学生の皆さんに喜んでいただけるよう美味しいパンを焼いていきたいと思います。



齋藤 陽 一

Kid's club



Kid's club



Kid's club



Kid's club



Kid's club



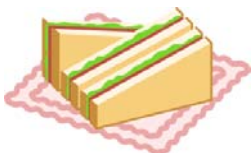
サンドイッチ
食べられる
ようになったよ



“ハートのおやつ” つくります！

太陽みたいにメチャメチャ明るい性格のAさん。得意のダンスに歌にピアノで、毎日クラブを盛り上げてくれています。そんなAさんも食べる物では苦手なものがいっぱいいます。でも、クラブの夏休みの活動で作る昼食をみんなで食べることで、きゅうりやマヨネーズ、五目寿司など、いくつか克服できたものもありました。ある日、お母さんから「サンドイッチが食べられるようになってくれたらいいな…」とお話がありました。家族で出かけるのに手作りサンドイッチを食べさせたいという願いからでした。そんなお母さんの気持ちに応えたいと思いスタッフで話し合いました。「五目寿司を食べられた時は名前を変えて“おひな様ごはん”だった。興味のありそうな名前に変えるのは効果がある。」「おやつ作り大好きAさんはリッツにジャムをのせてみんなに作ってくれている。」「名前を変えて、形も可愛くして…。ジャムサンドから始めてみよう！サンドイッチという言葉は絶対に禁物！」ということになりました。勿論、Aさんの自閉症という特徴に配慮したうえでの作戦です。

いよいよおやつ作りです。「今日は、“ハートのおやつ”を作ります！」というスタッフのかけ声に、メンバーは興味津々でした。「サンドイッチ用」というパンのパッケージの文字も可愛いテープで隠しました。パンをクッキー用のハート型でくりぬいて、ジャムを塗りサンドして…できあがり！「みんなでいっしょにいただきます～す！」スタッフの目は一斉にAさんへ集まります。ドキドキ…。ハートを持ったAさんは口の中へ「美味しいね～！」「やった！」スタッフ全員が心の中でガッツポーズ！その後は、形を変えてチョコをはさんで作り、沢山食べて、皆も大満足でした。帰りにAさんに尋ねてみました。「今日は何のおやつを食べたの？」「サンドイッチだよ！」見事！見破られていました。「じゃあ、次はきゅうりとマヨネーズを入れてみる？」と聞くと、「うん。きゅうりとマヨネーズ入れる！」ということで…作って楽しんでるうちに「嫌い」「食べられない」なんて気持ちを吹き飛ばしてしまったのです。今では、きゅうりハムサンドの他にツナサンドまで食べられるようになってしまいました。すごいね！



子供たちのできなかったことが「できた！」時の顔は素晴らしいものです。「できた！」は心の大きな栄養となり、自信につながっていくのでしょうか。子供たちは世界をどんどん広げる力があり、「あきらめない！何か方法がある！」と教えてくれます。私たちスタッフは、お母さん方と手を取り合い、他の人と比べた目標ではなく、その子その子の心の中に目標をもち、一緒にチャレンジしていきたいと思っています。

放課後クラブ・キッズクラブ 本多厚子

ぴいすのお弁当

お知り合いの会社や事業所、団体様をご紹介します。

定期的なお弁当注文を承ります。(週1回から)

ぴいすのお弁当を是非ご賞味下さい。

【価格】 日替わり弁当 420円(税込)
カレー弁当 320円(税込)

【注文数】 5個以上から

【営業】 月曜日～金曜日(祝日を除く) ※イベントの際などの不定期な注文もご相談下さい。

【配達】 玉村町、前橋市近郊 *要相談

【お届け時間】 11:30～12:30

【問い合わせ先】 社会就労センターぴいす(担当: 関口、木村)

TEL 027-236-0303 FAX 027-236-0304

研 修 報 告



H17年度身体障害者更生援護施設職員研修会

群馬県社会福祉協議会
身体障害者更生援護施設分科会

8月26日に、わーくはうすすてっぴにて、「H17年度身体障害者更生援護施設職員研修会」が開催されました。この研修会は身体障害者更生援護施設の職員が一同に会し情報交換とサービス向上を目指して昨年から始まったものです。わーくはうすすてっぴ職員8名ととらっば職員2名が出席しました。

講師に日本女子大学教授の久田則夫氏をお招きし、「求められる身体障害者福祉施設のあり方～福祉専門職の資質と条件～」について研修を受けました。

名 称	定員	施設種別
桂荘	30	内部障害者更生施設
泉荘	50	重度身体障害者授産施設
グリーンピア	30	身体障害者通所授産施設
みつみね寮	30	身体障害者授産施設
なるかみ寮	30	身体障害者通所授産施設
リハビリテーションセンター（授産）	120	身体障害者授産施設
リハビリテーションセンター（更生）	60	身体障害者更生援護施設
恵の園	43	身体障害者授産施設
グレイスホーム	42	身体障害者授産施設
三山ヘルプ荘	20	身体障害者通所授産施設
わーくはうす すてっぴ	35	身体障害者通所授産施設

「研修とは、何か行動を起こすためにやらなければならないことを探すためのもの」「求められるのはタイムマネジメントスキル」という話から始まり、「今、職員に求められるもの」として「①本物の実行力を示す、②本当にこのままでいいの、常識を疑う、③変化をおそれない、④不適切な業務スタイルに染まる“悪しき組織文化”の払拭を図る（不完全燃焼症候群の撲滅）、⑤契約の時代に、利用者に対して保障すべき権利（「質の高いサービス」を受ける権利、知る権利、サービス・支援を選ぶ権利、意見・要望・苦情を述べ、適切かつ速やかに対応してもらう権利）を把握し行動を起こす」という5点についての話を聞きました。

具体例を挙げての説明で、自分たちに置き換えて考えやすく、大変参考になりました。職員間での意思疎通を図り、これからも利用者にとって最善の利益となるようなサービスを提供していかなければならないと強く感じた研修でした。

また、研修会終了後交流会がわーくはうす すてっぴの食堂を会場に開催されました。料理はわーくはうす すてっぴとびいすが分担して作ったビュッフェです。日ごろ交流の少ない身体障害者施設同士、美味しい料理を食べながら貴重な情報交換の場とすることができました。

わーくはうす すてっぴ 井野美絵



法人全体研修会「精神障害者とののかかわりについて」

去る9月23日10時～12時、わーくはうす すてっぴにて、社会福祉法人アルカディアの中田駿理事長を講師にお招きし、精神障害者についての研修がありました。タイトルは、「精神障害者との」となっていますが、精神障害のみではなく、福祉サービスにかかわる人間にとっては、とても興味深いお話でした。簡単にまとめさせていただきます。

①障害を持つ方と関わる際に「身構えない」ということ。こちらが身構えると、相手も身構えてしまうため、自然と関わるのが大事。相手が放っておいて欲しい時には「関わらない」ことも時には必要。

②関わる際に自分の感性を大事にして、自分らしさを出しながら、自分に合った方法を探していくしかなく、時には挫折してみることも大事。

③相手のペースに合わせ、待つことが大切。その時に理屈ではなく、感性で関われないと援助者のストレスはたまっていく一方。

④スタッフ誰もが「その人らしさ」を発揮できる組織づくりを目指す。その中でみんなで考え、みんなで行動する。スタッフはストレス解消、特に自分が遊ぶことも心がける。

⑤「ぼちぼち」「明るく」「楽しく」「平凡に」生きること。100%で生きる必要はなく、力を抜いて生きていけばいい。

といった点が、特に印象に残りました。

人間 対 人間の関わりの中で、正解を探すのはとても難しいですが、自分らしい、自分のやり方を見つけていき、利用者さんと一緒に、ちょっと力を抜いて楽しくやっていけばいいなあ、と思った研修でした。

とらっば 阿部貴宏

講演会「自閉症を正しく理解すること～自閉症の人たちの生涯を通したトータルケア～」

講師：ゲーリー・メジホフ氏 米国ノースカロライナ大学TEACCH部部長

日程：2005年8月30日（火）10～16時

会場：長野県若里市民文化ホール

TEACCHプログラムは、自閉症の脳の機能の違いに着目して、視覚的サポートに力を注ぐなどして、自閉症の人たちに生涯にわたっての様々な支援方法を実践しています。

TEACCHでは、自閉症は文化に例えられる。自閉症の人は、ダメージを受けているのではなく“違う”にすぎないのだから。障がいを理解して、適した教育方法・コミュニケーション支援・社会的サポートのありかたをトータルに追求、実践を行うのがこのプログラムです。

細部に集中する、情報の整理・統合が苦手…などの特性に添う方法でサポートする。構造化により次のような展開が起こります。【予測可能な環境を整理する→慣れ親しんだ活動が増える→狭い興味関心をつなぎ合わせて興味をさらに広げる→自立性を発展させる】

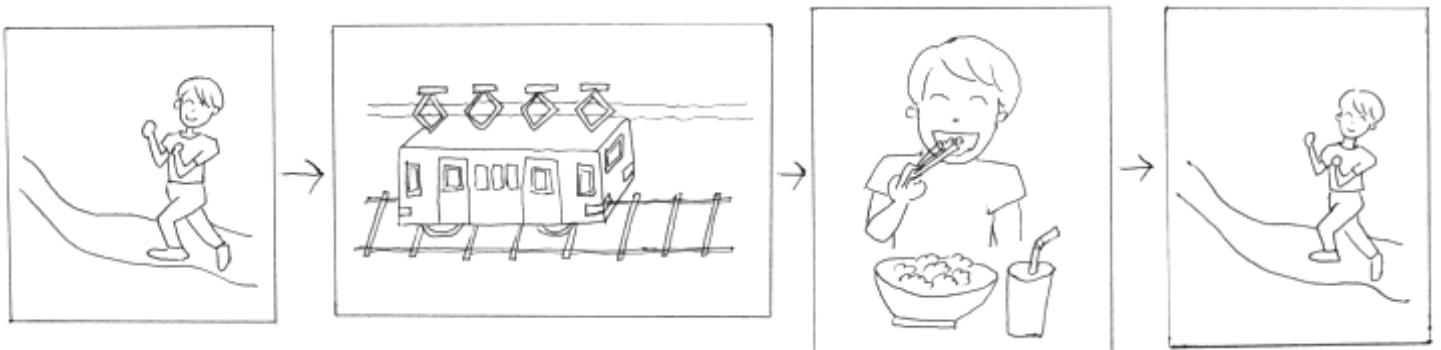
構造化

- ①物理的整理・組織化 家具・教材を工夫して場所や環境に意味と文脈を与える
- ②スケジュール 内容・順序・流れをしめす視覚的手がかり。整理・統合を助ける
- ③ワークシステム 何をするのか、どれくらいの量か、進み具合と終わりの概念を示して次に何があるのかを提供
- ④視覚的組織化 文字・絵・写真・カラーコーディネート・強調・容器による分類説明、組織化

実際のヘルパー業務内でも、この視覚的組織化による“予定の解説”は利用者様・ヘルパー両者にとってすぐに使える方法のひとつとして活用されています。

(例) “今日の予定”の解説時に絵を描いて、内容と順番を伝える手段にしています。

ヘルパーステーションすてっぷ 岡田紀子



残念!

障害者自立支援法案

来年2006年4月施行予定
国会で可決

願いもむなしく障害者自立支援法は来年4月施行予定となってしまいました。利用者負担金の発生や支援費の日割支給は2006年4月からと3ヶ月延期になり、新事業体系への移行開始は予定通り2006年10月からです。別紙に利用者負担についての減免措置についての一覧表と施行までのタイムスケジュール表を載せましたので参考にしてください。

利用料一割負担という定率負担の問題が大きく取り上げられている一方で福祉サービスを提供する施設や事業所の収入減という大問題もあります。別紙の「みんなのねがい」の記事にあるように日割り単価になることで“施設全体を運営する”という考えがなくなり、“一つ一つの事業（就労移行事業や生活介護事業等）を委託される”という考え方に変わります。今までは施設に支払われる“教養娯楽費”のようなお金を工夫して、自立のための体験や学習に活用していましたが、これからは決められた事業以外のことはできません。減少するであろう経費で、優秀な人材を確保できるかどうかも心配です。8月の社会福祉法人経営者協議会の大会では「通所の一施設一法人はもうつぶれる」「法人の統廃合が始まる」と言われていました。すてっぷでは法人としてどうやって今のサービスを維持し、本当の意味で自立支援を守って行くか対策プロジェクトを始めました。

皆さんもこれからできる213もの政省令のために声をあげていきましょう。

わーくはうす すてっぷ 鈴木隆子

わーくはうす すてっぷ わーくはうす すてっぷ わーくはうす すてっぷ

グループ旅行

箱根温泉 5/12(木),13(金) 参加者(利用者19名、スタッフ6名)

初日天気はすぐれず、当初予定していたロープウェーは翌日にまわして、彫刻の森美術館へ行きました。「箱根にピカソが来た！」で有名な彫刻の森。ピカソに行くぞ！と一部の人は意気込んでいました。しかし！ピカソ館は彫刻の森の最深部にあり、たどり着けた人はいませんでした。ピカソは見られませんでした。前衛的なアートをたっぷり堪能し、「時間が足りない！」という人もいました。その後は、ホテルへ行き、みんなで温泉に入って疲れを癒しました。以前テクニカルエイドニュースで紹介した介助ベルトを使って生まれて初めて露天風呂に入った利用者さんは「良い気持ちです」と喜んでいました。

二日目も天気はすぐれませんでした。ロープウェーに乗るため大涌谷へ。一つ食べると7年寿命が延びる(10個食べたら70年延びる?)という黒玉子(ゆで卵。中は普通の色でした)をお土産に買いました。ロープウェーには車いすの利用者さんも乗りました(乗れることを事前に確認していた)。天気の関係で景色は「絶景」とはいきませんでした。芦ノ湖はよく見えました。

新井 亘



ディズニーリゾート 5/8(日),9(月) 参加者(利用者6名、スタッフ5名)

ゴールデンウィークの明ける5月8日(日)～9日(月)に行きましたが、日程的に大当たりでした！

(もっともその日を狙って行った訳ではなく、その日しかホテルが取れなかったからなのですが)

渋滞を予想して朝早く出発したのに、渋滞もなく、ディズニーシーには人が少なく、乗り物に乗り放題でした。夜の花火まで満喫して、無事1日目を終えました。「夜まで遊ぶと絶対寒いから上着を忘れないように」というスタッフのアドバイス通り、皆上着を用意していましたが、それでも寒かったようです。(アドバイスをした当のスタッフが上着を持って来ず、寒さしのぎにバスタオルを購入していたのはここだけの話です)

二日目はディズニーランド。朝一で入場したので、ミッキーにお出迎えしてもらって写真も撮りました。旅行前の下調べもあって、いろいろなアトラクションが楽しめました。歩くのが苦手な利用者さんは車いすをレンタルしたり、予算の中から介助者費用を出したり、とみんなで考えて行った今回の旅行は大満足でした。

上村 佳子

東京ドーム野球観戦 5/12(木),13(金) 参加者(利用者7名、スタッフ4名)

一泊二日で野球観戦に行ってきました。車2台で前橋をゆっくり出て15:00に後楽園会館にチェックイン。ドームまでは徒歩5分なのでとても便利。まずはドーム内の野球博物館を訪れました。各チームのユニフォームやサインボールも面白かったのですが、何ととっても熱くなったのはバッティングシミュレーション。みんなホームランをねらって打つ打つ！さあ汗かいていよいよ観戦だ！応援グッズとお弁当を買って席に。

元わーくはうす すてっぷ(現びいす) 齋藤陽一



打つ！打つ！打つ！

🌿 わーくはうす すてっぷ 🌿 わーくはうす すてっぷ 🌿 わーくはうす すてっぷ 🌿

にぎわいステーション出店記

ついに悲願であった前橋の街中に、お店をオープンいたしました。(と言っても8/9(火)～14(日)の6日間、前橋市が中心市街地活性化事業として中央通りのにぎわい課隣の店舗スペースを一週間単位で貸し出す事業の一番手の利用者としてのことでした)

わーくはうす すてっぷと社会就労センターぴいすが一緒に「アートカフェすてっぷ」の運営をしました。

天井の高い白壁の空間に書を展示してお客さんを待ったところ街頭に出ての声掛けでパンやプリン、豆カレーが売れたのはもとより、店内で休んでいただく傍ら目に留まった陶器や布製品もお買いあげいただきました。また陶芸体験を実施したところ、ガラス張りの店内の様子を目にし足を止めてのぞき込む人もいて、夏休みということもあり子どもの参加も含め順調に毎回参加者がありました。

すてっぷのパンを普段食べていただいている方が、「あのすてっぷさんですか」と立ち寄ってくれたのはもとより、初めて買って食べた方が「おいしかったからまた買いに来たわよ」と再度買いにきてくださりということもありすてっぷのパンのおいしさを広める良い機会となりました。その後わーくはうすへパンをお買い求めに来て下さる方もいらっしゃいます。

最終日には、利用者さんたちの道行く人への元気な呼び声を毎日聞いていた近くの商店街の方々から、「寂しくなるわ、明日からパンが買えなくて残念」という声をいただきました。皆様のご協力により無事に「アートカフェすてっぷ」開設終了しました。



できたら1～2ヶ月に
1回定期的に開催
できるといいのにな～。

高橋 あい



8月1日～3日、22日～24日に小学生を対象とした「すてっぷ夏の体験教室」をわーくはうす すてっぷで行いました。パン作り体験(ピザ、カニ・カメパン・チョコパンなど)には19名、陶芸体験(カップ作り)には6名、フェルトモビール体験には2名と、多くの小学生が参加してくれました。パン生地を細長くのばして三つ編みしたり、チョコやあんこを包んだりして、あっという間にいくつものパンを作り上げていました。自分でトッピングしたピザをお昼に食べ(作ったパンはもちろんお持ち帰り!)、午後は思い通りのカップを作ったり、かわいい鳥のモビールを作ったりと、とても楽しんでくれて、夏休みのいい思い出になったようです。

井野 美絵

すてっぷ
夏の体験教室



芋煮会



今年も10月10日の体育の日に恒例となった芋煮会を行いました。生憎の雨模様の天気でしたが、地域の方々にたくさんお集まり頂いて賑やかな一日となりました。

この日わーくはうす すてっぷによる第九のお披露目がありました。来年5月に東京芸術劇場で発表するために毎日練習をしていますが、人前で歌うのは初めての事でした。歌う利用者さんは緊張してドキドキしたと思いますが、(見守るスタッフもドキドキしました)、歌い終わったときには大きな拍手を頂きました。

鍋対決の結果ですが、並み居る強豪を抑えて、とらっば清掃班のトマトスープが優勝しました。

わーくはうす すてっぷ 新井 亘



わーくはうす すてっぷの利用者が
東京芸術劇場で第九を歌います!



(芋煮会で初披露しました)

ゆきわりそう20周年記念
今、私たち21世紀の平和のために
歌う第九コンサート

2006年5月6日(土)開場 13:30開演 14:00
東京芸術劇場大ホール(池袋駅徒歩10分)
指揮 佐藤寿一
オーケストラ 東京フィルハーモニー交響楽団
チケット 3500円

チケットの割り当てが来ています。
ぜひ、チケット購入、販売のご協力をお願い致します!
他の6つの団体と一緒に歌います。応援にきてください。

カンパも
大歓迎です

パソコン年賀状作成教室

料金 2時間¥2,100(延長¥1,050/時間)
印刷代(ハガキ持込)
カラー¥20/枚、写真入り¥30/枚
日時 平日9時~12時、13時~16時
場所 わーくはうす すてっぷパソコン班
内容 年賀状デザイン、宛名面作成など
お気に入りの写真を使ったオリジナル年賀状も作れます。
(Windows/パソコンで筆まめを使用します。
申込 電話でご予約ください。
TEL 027-290-6161(担当:新井)

陶芸教室

料金 ¥1,575(粘土500g 焼成代込み)
※送料は別途負担
定員 5名
日時 毎週月曜10時~15時(2時間)
場所 わーくはうす すてっぷ創作活動班
内容 カップ1点(手ろくろ、ひもあげ)
申込 電話で1週間前にご予約ください。
TEL 027-290-6161(担当:井野)

- ・わーくはうす すてっぷ
- ・ヘルパーステーションすてっぷ
- ・サービスステーションほっぷすてっぷ
- ・メゾンすてっぷ
- ・前橋市障害者生活支援センター
- ・知的障害者小規模授産施設とらっば
- ・グループホームRUN
- ・社会就労センターひいす
- ・サービスステーションすてっぷ

〒379-2164 前橋市東上野町136番地1	TEL 027-290-6161
〒379-2164 前橋市東上野町136番地1	TEL 027-290-2233
〒379-2164 前橋市東上野町136番地1	TEL 027-290-2240
〒371-0004 前橋市亀泉町3-83	TEL 027-269-7444
〒379-0017 前橋市日吉町2-17-10	TEL 027-236-0001
〒371-0017 前橋市日吉町2-17-10	TEL 027-219-2525
〒371-0017 前橋市日吉町2-29-4	TEL 027-234-3321
〒371-0032 前橋市若宮町4-2-17	TEL 027-236-0303
〒370-3523 群馬郡群馬町福島782-1	TEL 027-372-3456